

最新売れ筋BEST本

★印は初登場!!

2004.7.1~7.31

TTCネットワーク月間データ
(書店を除く小社全書籍の売れ筋)

	書名	著者名	本体	記本日	前月順
↑	1 J.C.オカザワの銀座を食べる	J.C.オカザワ	1800円	04.6.25	7
↑	2 ケアマネジャー基本問題集 04(上)	介護支援研究会	1600円	04.4.23	3
3	平和と平等をあきらめない	高橋哲哉×斎藤貴男	1400円	04.5.28	1
4	ケアマネジャー基本問題集 04(下)	介護支援研究会	1800円	04.4.23	4
↑	5 月と菓子パン	石田 千	1800円	04.5.10	9
6	自分の仕事をつくる	西村 佳哲	1900円	03.9.30	5
↑	7 ケアマネジャー実戦予想問題 04	介護支援研究会	2600円	04.6.18	17
☆	8 哲学の横町	木田 元	2200円	04.6.30	New
↑	9 普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	11
10	深呼吸の必要	長田 弘	1800円	84.3月	2
☆	11 どんなガンでもあきらめない	村尾 国士	2600円	04.6.30	New
12	誰でもない男の裁判	カー	2400円	04.6.16	8
13	棋士	二上 達也	1600円	04.5.28	6
14	「終の住みか」のつくり方	高見澤 たか子	1700円	04.5.25	10
☆	15 あっ!ハチがいる!	千葉県立中央博物館	1600円	04.7.7	New
↑	16 J.C.オカザワの浅草を食べる	J.C.オカザワ	1700円	03.12.11	22
17	ヒーリング・キャット	葉 祥明	1500円	04.1.30	12
18	がんから始まる	岸本 葉子	1600円	03.10.17	14
↑	19 「心」と戦争	高橋 哲哉	1400円	03.4.23	25
☆	20 白くまにならなかった子ども	ハストラップ、フラッティニ	1600円	04.7.7	New

重版(39刷)出来ました!

深呼吸の必要
長田弘

**深呼吸
の必要**

'84年ネオ版の
大ロングセラー!!

長田弘(おだひろ) 著

本体 1800円
ISBN 4-7949-3526-9

この詩集に触発されて撮られた映画「深呼吸の必要」も高い評価を獲得! 映画の影響で詩集を手にとる読者が広がっています!!

★プレゼント本にもgood! 平装でお試ください

「終の住みか」
のつくり方

高見澤たか子



できるだけ長(自由)に暮らそう、
わが家。

この本の発行は、高見澤たか子氏の著書「終の住みか」の発行に際し、
高見澤たか子氏の著書「終の住みか」の発行に際し、
高見澤たか子氏の著書「終の住みか」の発行に際し、

**「終の住みか」の
つくり方**

高見澤たか子 著
本体 1700円

読売新聞、週刊新潮、日刊ゲンダイほか
さらに朝日新聞8/8(日)書評で紹介!



おまたせ(ま)た
**重版
出来!!**

7949-6622-9

大好評!!
売行き加勢中

**月と
菓子パン**

石田千 著

本体 1800円

4-7949-6618-0



Ku:nel 第9号(04.9/1号 マガジンハウス
現在発売中)で、カラー3頁にわたって紹介!

「日常という散歩の途中で拾った、あたにかくほろ苦いエピソード。心に残る愛しい瞬間をくもりのないレンズで捉えた全44篇を収録」
「風通しのよさがこの人には確かにある。きちんと窓が開いている人だ」(Ku:nelより)

追加注文ただいま劇的急増中!!

晶文社 8~9月

『風とロック—箭内道彦と21世紀的広告』
池内了『ヤバな科学』
すずき大和『まんが たけくらべ』
ロバート『映画監督 スタンリー・キューブリック』
島田裕巳『人を信じるという心』(1版)
マクリン『統合失調症 ぼくの手記』

ミッチェル『月が昇るとき』(晶文社ミステリ)
バヤール編『地球にやさしいひとになる本』
生田倫哉『ミッドライフ・クライシス・イン・ニューヨーク』
ドゥーガン『デューモ ナズに消されたフットボール』
馬場正尊『東京R計画』
加藤典洋『語りの背景』
植草甚一『スクラップ・ブックシリーズ 復元!開き台!』

麺食いシマダの この店に行け!

不定期連載 No.81



暑いので暑い国の麺を食べようと思った。食欲の落ちる夏は冷や麦とかソーメンなど、あつぱりしたものが欲しくなるが、あえて南の国の麺を食べたい。そう思った日は、大平町で39.5度という東京観測史上のレコードをたたき出した日である。その時刻にまたま飯田橋あたりをぶらついていたら、体感気温では40度を超えてほとんど「無料サウナ」状態であった。汗が流れる、というより吹き出るのである。39.5度の国は? そうだ! ベトナムだ。仏領時代が長く、ベトナムはパンがおいしいと聞いていた。パンが旨ければ麺だって旨いはず、と勝手に思い込む。しかし、これからベトナムに飛ぶには時間も金もない。さてどうする? 東京のすごいところは、そこに行かなくてもその物が手に入るというところ。銀座の某所から「ジャンパイヤ」と「八角」の強い香り

「うどん」に近い。使う具はスープにあり、フォー・ガーになったり、フォー・ボーになったりする。フォー・ガーは鶏肉とスープ。フォー・ボーは牛肉とスープの違い。「モウ」と鳴くからボーは牛。「ガー」と鳴くからガーは鳥、と勝手に覚えた。具はそれぞれ肉類のほか、たまねぎ、モヤシ、アサツキ、ジャンパイヤ、レモン(本場ではベトナムタイム)がのる。麺は、フォー・ボーは太い麺、フォー・ガーは中太麺。ブン・ポ・フェ(辛いスープ麺)は細麺と変化する。この店の特徴はベトナムの特徴が不明だが、オーダーしてから出てくるまでが早い! で、さっそく麺をズルズルとすすり、最後には丼を持ち上げ残った汁を飲む。と、これが大間違いであることを、本で知った。(詳しくは「ベトナムごまかまる」と書かれた本をぜひ読んでほしい)「箸で麺、肉、モヤシ、ハーブをとり、すりすりしながらの中に入れ、汁をそとくって、一口でスルッと口の中に」(同書P.50より)入る

らしい。二度目に食べたときに、その所作を実践する。すると、まるで違う。マナーとか土草の問題ではない。それぞれの素材が、一度口の中で合せる味わいの深さに驚く。旨い! ランチは、前記のフォーに、ネム(豚肉、カニの揚げ巻) + バンクン(揚げ巻)のAセット。ゴイクン(生春巻き) + バンクン(ベトナムチキンのBセット。ベトナムチャーハン(これもまたいい!) + 辛春雨サラダのCセット。の多彩なメニューから組み合わせが楽しめる。これで945円。少し古いメニューを見たら880円とあった。たぶん20円値上げしたのだらう。そして税込表示で今の値段になった、良心的な店といえまいか。店名は「サイゴン」。場所は東京メトロ(地下鉄)有楽町線の銀座一丁目駅1番出口を上がると、すぐ目の前が沖繩のアンテナショップ「わした」。その左隣、阿含ビルB1F。「サイゴン」で食事をして、「わした」店内をうろつく、身も心も南国である。【営業部・島田孝久】